

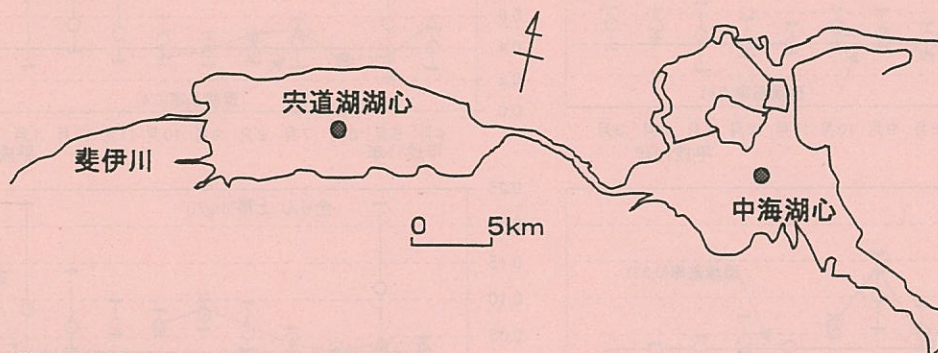
輝水だより (第22号)

[問い合わせ先] 島根県環境生活部環境政策課

湖沼環境係 電話:22-5562

平成 11 年 10 月の宍道湖・中海の水質の状況について、島根県が実施した調査結果の速報値をお知らせします。

1. 調査地点

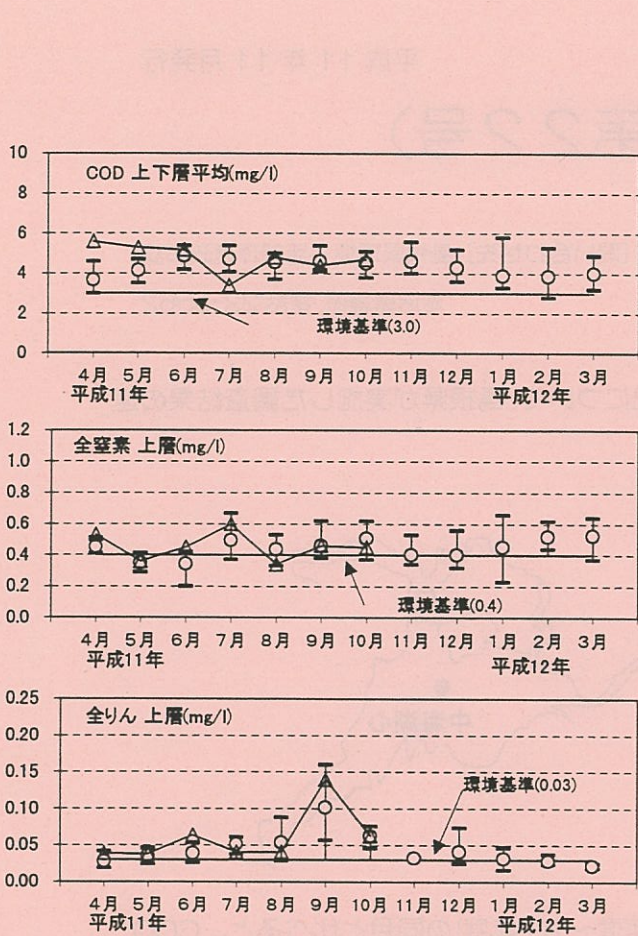


2. 調査結果

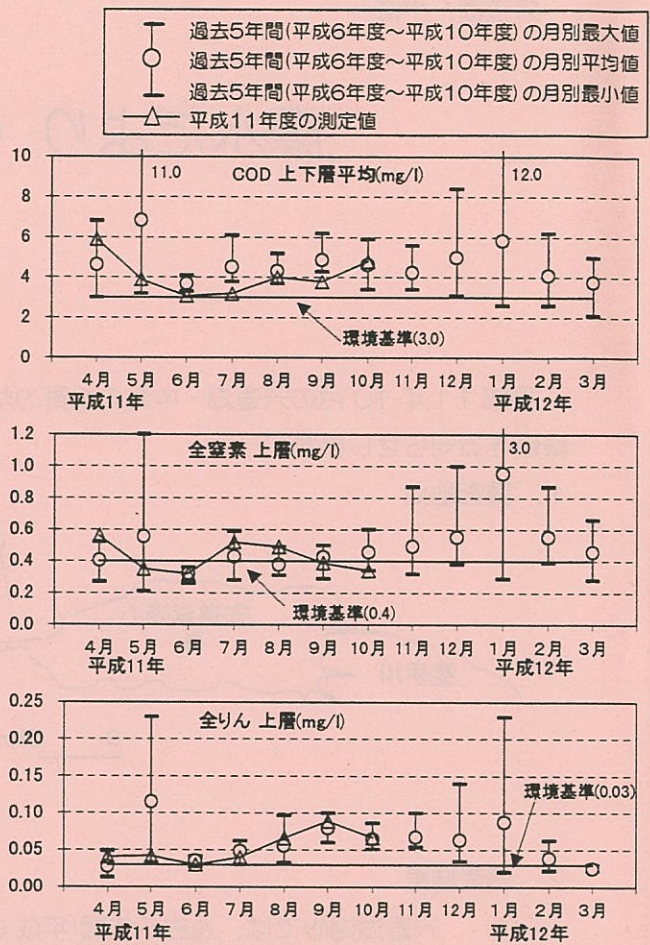
- (1) 宍道湖湖心では、過去5年間(平成6年度～10年度)の同月と比べると、CODは平均値よりも高い値で、全窒素は平均値よりも低い値で、全りんは平均値と同じ値でした。湖全体にわたり湖面が緑褐色を呈し、アオコが散見されました。
- (2) 中海湖心では、過去5年間の同月と比べると、CODは平均値よりも高い値で、全窒素は最低値を示し、全りんは平均値よりも高い値でした。また、中海における島根県域の観測によると、下層は広域にわたり貧酸素化していました。

項目	単位	環境基準 (湖沼AⅢ類型)	宍道湖 (湖心)			中海 (湖心)			[参考]平成10年度平均*	
			8月	9月	10月	8月	9月	10月	宍道湖 (湖心)	中海 (湖心)
水温(上層)	℃	—	28.4	27.2	23.4	27.5	27.2	22.9	—	—
pH(上層)	—	6.5～8.5	8.4	8.2	8.6	8.5	8.4	8.7	—	—
COD(全層平均)	mg/l	3以下	4.8	4.4	4.7	4.0	3.8	4.8	4.7	4.7
SS(上層)	mg/l	5以下	4	4	5	3	2	7	6	9
DO(上層)	mg/l	7.5以上	8.0	9.1	8.7	7.5	7.4	7.8	9.6	9.4
DO(下層)	mg/l	7.5以上	<0.5	8.6	8.1	0.5	<0.5	1.6	7.7	4.1
全窒素(上層)	mg/l	0.4以下	0.34	0.46	0.45	0.49	0.39	0.34	0.44	0.46
全りん(上層)	mg/l	0.03以下	0.041	0.14	0.063	0.066	0.089	0.067	0.051	0.064
Cl(上層)	mg/l	—	1300	2000	2000	6800	11000	9100	1600	8400
Cl(下層)	mg/l	—	2800	2000	2000	17000	17000	16000	2000	14000
クロロフィルa(上層)	μg/l	—	15	20	25	8.1	8.6	11	24	20

* 平成 10 年度公共用水域測定結果による。



宍道湖湖心における各水質の月変動



中海湖心における各水質の月変動

[水質の用語]

- pH 水の酸性、アルカリ性を示します。pHが7のときは中性、これより数値が高い場合は、アルカリ性、低い場合は酸性です。海水は8.2、河川水は7前後です。また、植物プランクトンが大量に発生すると上昇します。
- COD 湖水の中の有機物による汚れを示す指標です。数値が大きいほど有機物による汚れが大きいことを示します。
- SS 水中に漂っているゴミやプランクトンの量を示します。
- DO 水に溶けている酸素の量を示します、水に溶け込むことのできる量は温度によって異なり、温度が低いほどよく溶けます。
- 全窒素 水中の窒素の量を示します。全りんと同様にプランクトンの発生要因で、富栄養化の指標となります。
- 全りん 水中のりんの量を示します。
- クロロフィル a 植物プランクトンに含まれる葉緑素(クロロフィル a)の量を示します。この量が多いほど、植物プランクトンが多いことを示します。
- Cl 海水の割合を示す指標です。数値が大きいほど海水が多く混合しています。海水の塩素イオン濃度(CI)は18800mg/lです。